

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担 当 課: 道路局 環境安全・防災課

担当課長名: 水野 宏治

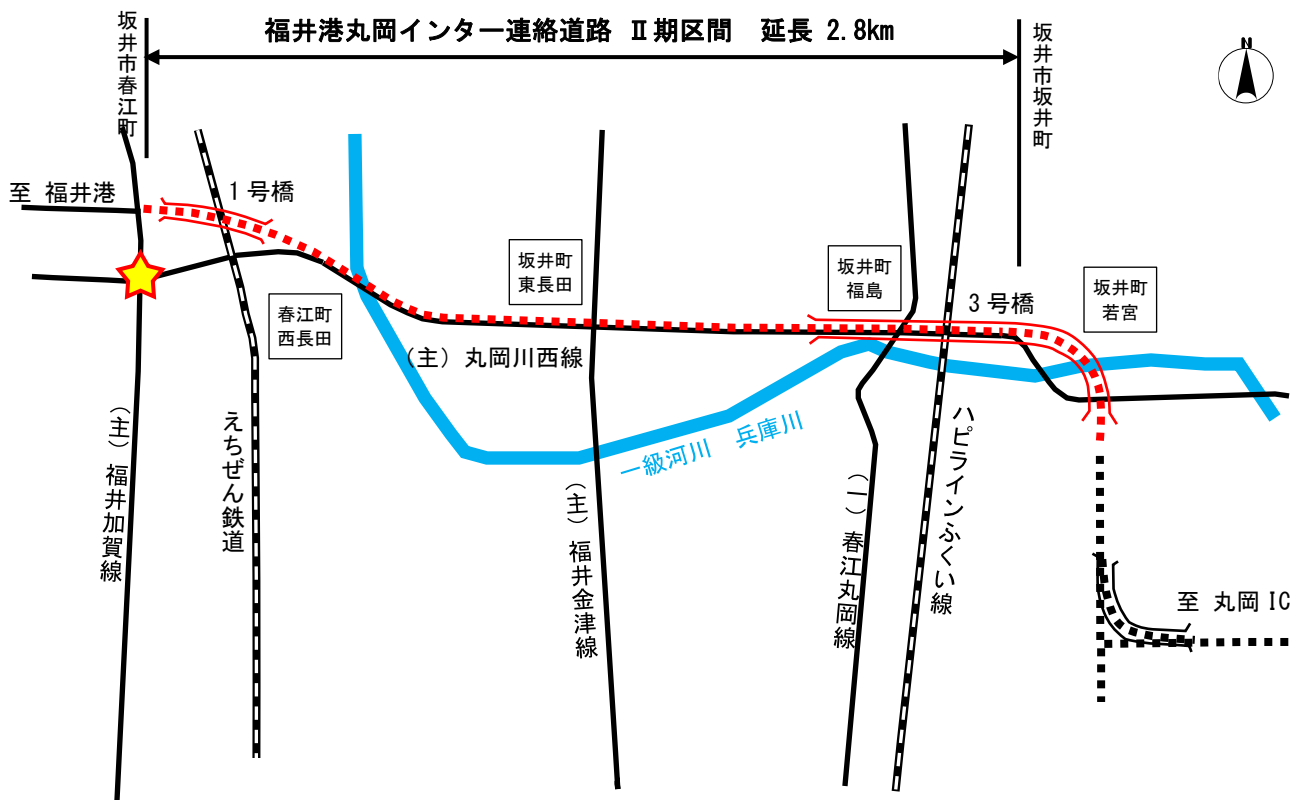
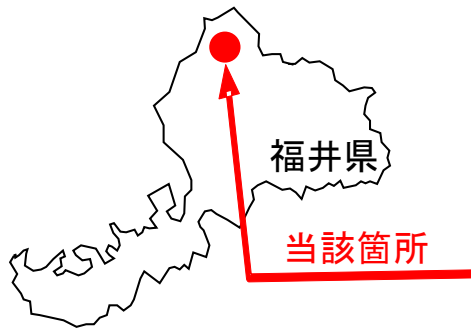
事業名	地域高規格道路 <small>ふくいこうまるおか</small> 福井港丸岡インター連絡道路 主要地方道 <small>まるおかがわにし</small> 丸岡川西線 II期区間	事業区分	地方道	事業主体	福井県	
起終点	自: <small>ふくいけん さかいしほるえちやうしながた</small> 福井県坂井市春江町西長田 至: <small>ふくいけん さかいしきかいちやうふくしま</small> 福井県坂井市坂井町福島			延長	2.8km	
事業概要						
<p>福井港丸岡インター連絡道路は、福井港を起点とし北陸自動車道丸岡ICに至る延長約20kmの地域高規格道路である。広域交流拠点である「福井港」および県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と北陸自動車道丸岡ICとのアクセスを強化することにより、地域産業の活性化を図るとともに、国家石油備蓄基地が立地し災害時の活動拠点となる「福井港」と北陸自動車道との連絡を強化することにより、緊急物資輸送における生命線となるなど大きな効果が期待されている。</p>						
R3年度事業化		H25年度都市計画決定		R5年度用地着手		
R7年度工事着手						
全体事業費	195億円	事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約11%	供用済延長	— km	
計画交通量	18,700台/日					
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 135/ 153億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 196/ 196億円	
	1.3	5.3%	(事業費: 133/151億円) (維持管理費: 1.9 / 1.9億円) (更新費: — 億円)		(基準年) (令和7年) (走行時間短縮便益: 188/188億円) (走行経費減少便益: 8.7/ 8.7億円) (交通事故減少便益: -0.01/-0.01億円)	
	参考 2.0 [2%]					
	参考 2.5 [1%]					
	(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)	
1.5	6.1%	交通量	B/C=1.2~1.4(±10%)	交通量	B/C=1.3~1.6(±10%)	
参考 2.2 [2%]		事業費	B/C=1.2~1.4(±10%)	事業費	B/C=1.3~1.6(±10%)	
参考 2.8 [1%]		事業期間	B/C=1.1~1.4(±20%)	事業期間	B/C=1.3~1.6(±20%)	
事業の効果等						
①交通の円滑化とアクセス向上 ・福井港及びテクノポート福井と北陸自動車道丸岡ICとのアクセス向上による地域産業の発展に寄与 ②地域防災の支援 ・第一次緊急輸送道路としての緊急支援物資の円滑な輸送を支援 ③交通渋滞の緩和 ・現道部に主要渋滞箇所が存在し、当該道路の整備により現道交通が転換され、渋滞が緩和 ④観光ネットワークの充実 ・東尋坊など県下有数の観光地へのアクセス向上により、地域観光の利便性向上に寄与						
関係する地方公共団体等の意見						
・地元坂井市から早期整備の要望を受けている。 ・福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会から早期整備の要望を受けている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地進捗率45%、事業進捗率11%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地取得や橋梁工事等を進め、事業効果の早期発現を図る。						
施設の構造や工法の変更等						
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。						

対応方針

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡例	
開通済	——
事業中	- - - -

凡例 (現道課題)	
★	主要渋滞箇所

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)